

ようこそ、国語教育専修へ！

中学校教育コースの国語教育専修の紹介です。

Q1. どんな専修ですか？

国語教育学・国語学・国文学・漢文学と、それぞれの専門家が学生を指導しています。

学生は4学年・小中 合わせて約100名と、教育学部の中では大所帯の専修です。

学生は、1・2年生のときは教養科目や基礎的な科目を勉強することに忙しいですが、3・4年生になるとゼミに所属し、自分が興味を持った研究テーマを深く追究します。



2019年度の新入生歓迎行事の様子(2022年度までコロナ禍で中止)

Q2. どんなスタッフがいるの？

国語教育学を専門とする教員が2名、国語学(日本語の研究)を専門とする教員が1名、国文学を専門とする教員が2名、漢文学を専門とする教員が1名、計6名の教員がいます。

Q3. どんな授業をしているのですか？

カリキュラムの基本的な考え方は、「国語科教育法」と「授業開発」で国語教育の方法を学び、「内容論」で言語と文学の分野ごとに国語教育の内容を学び、「内容構成」で方法と内容を統合する、というものです。

さらに「演習」で国語教材の具体的な分析方法などを学び、「特論」で各分野の専門的な事柄をより深く学びます。

3・4年次には卒業研究の指導を受け、4年次のおわりに卒業論文を完成させて、卒業を迎えます。卒業研究の指導は、教員1名が1つのゼミを持ち、学生はいずれかのゼミに所属して、原則毎

週卒業研究の指導を受けます。

一昨年度からは、新型コロナウイルス感染予防対策のため、ゼミ・卒論作成に対面の他、オンライン指導も導入しています。



授業風景(地域言語ゼミ)

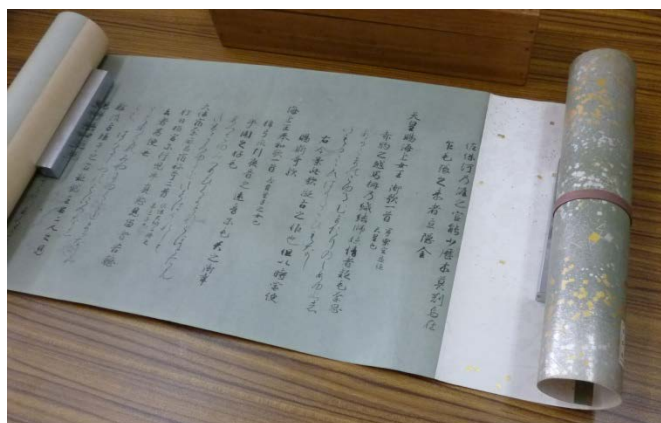
Q4. 卒業生の進路は？

令和3年度卒業生は、今年3月時点で小学校・中学校・高等学校の教員にそれぞれ採用されています(講師採用も含む)。

卒業生は、小学校・中学校・高等学校の国語科教員として、県内外で活躍しています。

皆さんもぜひ、われわれの仲間にも！

私たちが普段使う言葉と言語文化を通して、国語教育の面白さを、ともに学んでいきましょう。



桂本^{かつらぼん}万葉集^{ぎよふつ}(御物) 講座の所蔵！(ただしレプリカ)